

医療用ラジオアイソトープ製造・利用推進 アクションプランフォローアップ (令和6年度の進捗状況)

令和7年8月
原子力規制庁

進捗状況

(3-6) 非臨床試験でラジオアイソトープを投与した動物をはじめとするラジオアイソトープが含まれる試料の取扱いについては、研究推進側における具体的な利用方法、安全確保策、見直しを求める規制について2024年度までに整理する。その上で、法令等の改正や運用の見直しの可否について検討し、結論を得る。。

- 令和6年度は、量研から、非臨床試験におけるRI規制の課題に係るアンケート調査の結果について説明を受けた。
- 今後、利用推進側における具体的な利用方法、安全確保策などに係る議論の進捗に応じて、規制側で検討すべきことが明らかになったものについて規制の在り方を検討する。

(4-6) 核医学診療に伴って発生する放射性廃棄物の管理コスト低減等を目指し、2017年炉規法改正時の附帯決議を踏まえて、焼却、固形化、保管廃棄に限定されている医療用放射性汚染物等の廃棄の方法を規制側の協力を得て見直し、処理・処分の合理化に係る規定を整備する。

- 令和6年度は、厚生労働省から、医療用放射性汚染物等の廃棄の方法や処理・処分の合理化に係る検討状況について説明を受け、医療用放射性汚染物をRI法令の規制下に移管することへの課題について意見交換を行った。
- 今後、同省における検討の進捗に応じて、規制側で検討すべきことが明らかになったものについて規制の在り方を検討する。